

仮想世界による新ビジネス提案募集

コンピュータの中に構築されるひとつの世界—仮想世界—が近年、さまざまな分野で関心を集めている。

設計や生産の分野にとどまらず、大規模システムの運用、エンターテインメント、教育、商業、報道、都市計画、防災など、その適用範囲に大きく広がっている。

今回の課題は、仮想世界を用いた新しいビジネスについて提案を募集する。



Second Life



Virtual Actor, Stanford Univ.

北海道大学情報科学研究科 システム情報科学専攻
小野里 雅彦 (Masahiko Onosato)

課題実施の注意事項

1. ここでの仮想世界には、世界の構成するオブジェクトに関するモデリングと、それらの振る舞いに対するシミュレーションが含まれていること。
2. 「ビジネス」として成立するために、社会的なニーズが見込まれる提案内容であること。
3. 提案には、提案概要、実現のイメージ、システムの構成、使用される主要な技術、適用分野、実用化にむけた実施計画、必要とされる資金と回収計画、を必ず含むこと。

北海道大学情報科学研究科 システム情報科学専攻
小野里 雅彦 (Masahiko Onosato)

プレゼンの実施形態

1. 1～3名でチームを構成せよ。ただし、3名の場合には必ず他の研究室のメンバーを加えること。
2. チームの名称・構成員の氏名，所属研究室，e-mailアドレスを12月25日(火)正午までに小野里まで連絡すること (onosato@ssi.ist.hokudai.ac.jp)
3. 各チームごとに、「提案書」「配布資料」「プレゼン用ファイル」を作成して、**2月5日(火)正午**までに小野里まで提出のこと。
4. **2月6日(水) 9:00～12:00**にA12において発表会を開催して，各チームの提案内容の発表(**発表5分，質疑5分**)を行い，相互評価を行う。

北海道大学情報科学研究科 システム情報科学専攻
小野里 雅彦 (Masahiko Onosato)

提出物について

【提案書】

A4サイズ 表紙込みで10ページ以内 表紙にはプロジェクト提案名，提案チーム名，構成員氏名・所属研究室・主な分担事項を記すこと。カラー使用可能。紙に出力してホチキス止めしたもの1部と，後述のCD-RにPDFを格納のこと。

【配付資料】

A4サイズ 横置き 1ページ。発表会参加者に配布する。形式は自由。カラー使用可能。紙に出力したもの1部と，後述のCD-RにPDFを格納のこと。

【プレゼン用ファイル】

PowerPoint等の発表資料。枚数の制限はないが，発表時間を5分として用意すること。紙に出力したものと，後述のCD-RにPowerPointファイル等を格納のこと。

【CD-Rの提出について】

構成されたチームにCD-Rを1枚配布するので，それに上に記載のデータファイル等を格納して提出のこと。

北海道大学情報科学研究科 システム情報科学専攻
小野里 雅彦 (Masahiko Onosato)

エントリー状況

- | | |
|----------------|-----------------|
| 1. CAVE信者 | 氏家啓介, 鈴木甫 |
| 2. WX321J | 白木絢子, 橋本敦史 |
| 3. 松尾スズキ | 松尾潤一, 鈴木実 |
| 4. DSE2 | 川口貴司, 毛利健二 |
| 5. デンプシーロール | 赤塚元軌, 真鍋勇介 |
| 6. DSE1 | 佐藤健介, 廿日岩昭裕 |
| 7. 4-23 | 枝川晃一, 小川智也 |
| 8. 佐藤 | 佐藤哲史 |
| 9. チームM2 | 鍵谷悠樹 |
| 10. pippo-chun | 進泰彰, 中川敬 |
| 11. ニコニコ | 岡崎伸哉, 内藤葉月 |
| 12. ひとり | 竹原和生 |
| 13. みかんとその仲間達 | 山中将裕, 森友揮, 樋口大河 |
| 14. HBD | 中村洋人, 長谷篤樹 |